新型コロナウイルス感染症対応

ひとり親家庭向け食料品と遊具の提供「ひとり親家庭応援ボックス」実施報告

Save the Children



※無断使用・転載禁止


※無断使用・転載禁止


※無断使用・転載禁止




※無断使用・転載禁止



※無断使用・転載禁止


※無断使用・転載禁止

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

ひとり親家庭応援ボックスを支援してくださった皆さまへ
皆さまのご支援が、緊急下の子どもや保護者を支えました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、子どもや保護者に深刻な影響が及んでいます。セーブ・ザ・チルドレンは 2020 年 5 月に東京 23 区内で「ひとり親家庭応援ボックス」として食料品などの支援を応募のあった 310 世帯に対して実施しました。その中で、「水で空腹をしのいでいる」など、厳しいひとり親家庭の状況が明らかとなりました。そこで、6 月には対象地域を 1 都 3 県に、世帯数を 1010 世帯に拡大して、緊急追加支援を行いました。
皆さまのご支援は、ひとり親家庭の食の状況を改善し、コロナ禍で困難な状況に置かれた子どもたちの生きる権利・育つ権利を保障するために大きな力となりました。また、ひとり親家庭の切実な状況をレポートにまとめ、関係省庁や行政、議員に対して対策をとるよう提言することもできました。
皆さま一人ひとりのご協力に心からの感謝をお伝えするとともに、緊急支援活動の成果をご報告します。

1,320世帯

に「応援ボックス」を届けました。

子ども2,255人、
大人1,472人（19歳以上）



6月の「ひとり親家庭応援ボックス」





発送を準備する職員

■受益者の声　”ありがとう”の声が届いています。

本日、ひとり親家庭応援ボックスが手元に届きました！ありがとうございます。
たくさんの量に驚きました！しかも、どれをとっても嬉しい品々で、本当にありがたいです。
みなさんが、これは喜んでもらえるんじゃないか、役に立つんじゃないか、
といろいろ考えて決めたり詰めたりして下さったんだなぁ、と想いが伝わってくる贈り物でした。
母としてはお米が1番ありがたかったです。
思春期で機嫌の良い時しかしゃべらない娘も、めずらしく上機嫌で箱の中身を確かめ、
さっそくグミを食べてご満悦。

同封されていたPFAのチラシも大変参考になりました。
本当にどうもありがとうございました。

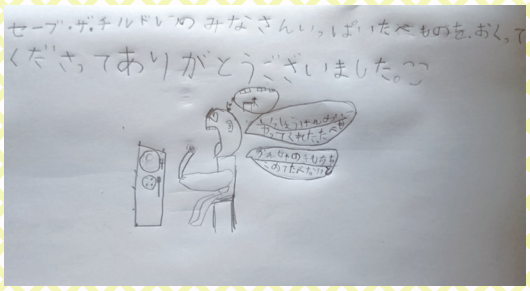
【30代女性・中学生2人の保護者の方より】

この度は、応援ボックスありがとうございます。
箱を開けた瞬間、七歳になる息子は『いっぱい入っていてすごい！どうやって集めたの？』と喜んでおりました。
同梱されていたリーフレットも参考になりました。
この様な状況の中、気にかけてくれる方々がいらっしゃると思うと救われます。
本当に感謝です。
ありがとうございました。

【40代女性・小学生1人の保護者の方より】



※無断使用・転載禁止



この度は、ひとり親家庭応援ボックス
ありがとうございました。
仕事も4月から休業で、観光業のため復帰のめどもたっておらず、とても助かりました。
ありがたく息子といただきます。
息子は、ダンボールも 電車＆自動販売機としてつかっております（笑）
ご支援感謝いたします。

【40代女性・小学生1人の保護者の方より】

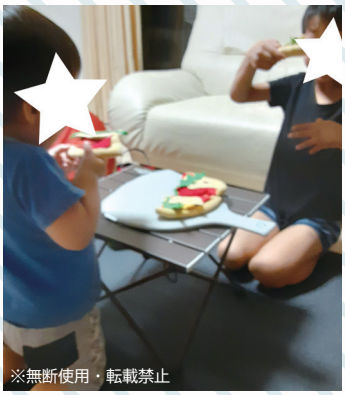
とてもたくさんの食材やお菓子、おもちゃまで本当に本当にありがとうございます！！
子供たちは届いた段ボールに興味津々で、開けたらおもちゃに夢中でした！
特におままごとが大好きな二人にはピザが大のお気に入りになったようです(*^^*)
子どもたちの嬉しそうな姿がなにより嬉しいです。

離婚協議が1年、生活費もコロナを理由にほとんど入れてくれず、
私自身バイト先に休業や人件費カットなどで3か月近く入れず
収入がなくなってしまい、本当に困っておりました。。

ただ、今回コロナによってこんなにたくさんの方々が
助けようとしてくれている事に気づけました。
頑張ります！！！ありがとうございました(*^^*)

【30代女性：未就学1人、小学生1人の保護者の方より】


※無断使用・転載禁止


※無断使用・転載禁止


※無断使用・転載禁止

■支援内容

セーブ・ザ・チルドレンは、子どもたちの食の状況の改善や遊ぶ機会の提供を目的として、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したひとり親家庭に対して、お米や副菜などの食料品とお役立ち情報、希望者にはおもちゃセットを、2020 年 5 月下旬から 6 月下旬にかけて合計 1,320 世帯へ提供しました。



5 月 23 日	「ひとり親家庭応援ボックス」 募集 （東京 23 区内在住者対象）
5 月 25 日～	申込内容の確認、配送準備
5 月下旬	310 世帯へ発送
6 月上旬	・5 月分 「ひとり親家庭応援ボックス」 利用世帯が申込時に回答した生活状況に関する項目の結果発表、切実なひとり親家庭の状況を受け対象地域と世帯数を拡大して緊急追加支援を実施することを決定。 ・緊急追加支援 「ひとり親家庭応援ボックス」 募集 （東京都、 神奈川県、 千葉県、 埼玉県在住者対象）
6 月中旬	申込内容の確認、配送準備
6 月下旬	1,010 世帯へ発送
7 月	利用世帯が申込時に回答した生活状況に関する項目の 5 月、 6 月分の結果分析 東京都議会議員、 23 区各区議会議員を中心に、 自治体、 関係省庁などへひとり親家庭に対する支援の拡充に向けて働きかけを実施
8月以降	・6 月分緊急追加支援 「ひとり親家庭応援ボックス」 利用世帯が申込時に回答した生活状況に関する項目の結果発表 ・厚生労働省や内閣府、 都・県など関係省庁や行政、 国会・地方議員への働きかけを継続

申込時の結果を踏まえ、応援ボックスの支援を実施した東京都や神奈川県、千葉県、埼玉県を中心に、ひとり親家庭の深刻な経済状況に対して緊急の支援を行うよう国や自治体へ働きかけを行っています。また、ひとり親家庭の経済的困難の抜本的な解決につながるよう、制度の改善や社会保障の拡充を、関係団体などと連携して国や関係省庁へ求めていきます。





会計報告

個人や法人のみなさまからのご寄付により、「ひとり親家庭応援ボックス」緊急追加支援では、5月から7月にかけて、各家庭への食料品などの提供、家庭の生活状況の調査・分析・発信、政策提言活動など20,347,877円規模の支援活動を展開することができました。

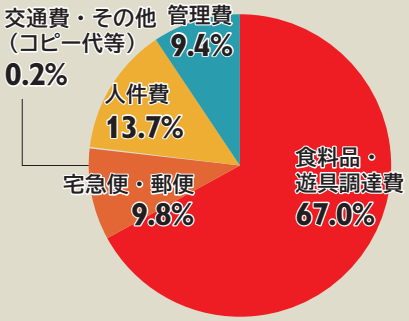
寄付金額合計

20,347,877円

（2020年5月～7月末））

事業名	金額
食料品・遊具調達費	¥13,636,881
宅急便・郵便	¥1,989,824
交通費・その他（コピー代等）	¥34,392
人件費	¥2,778,383
管理費	¥1,908,397
合計	¥20,347,877

費用の内訳



自然災害の被災地で、紛争地で――。
世界にはまだ支援を必要としている子どもたちがいます。

危機に備え、未来を守る
「いのち・みらい貯金箱」で、
自然災害や人道危機の緊急事態に対応します。



いのち・みらい貯金箱へのご支援にご協力ください

クレジットカードからの寄付

パソコン
スマートフォン

パソコン・
スマートフォンから
ご寄付いただけます。

いのちみらい貯金箱　検索

郵便局(ゆうちょ銀行)からの寄付

郵便振込口座：**00190-8-791030**
加入者名：いのち・みらい貯金箱

※ 備考欄に「いのち・みらい貯金箱」とご記入ください。※ 振込手数料はご負担をお願いしております。※ 領収証ご希望の方は、振込用紙通信欄にその旨ご記入ください。

■ 企業としてのご寄付のご要望・ご相談については、下記までお問い合わせ下さい。 ■ セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンへのご寄付は、税の控除を受けることができます。

**セーブ・ザ・チルドレンは、
子どもの権利のパイオニアとして
100年の歴史を持つ、
子ども支援専門の国際NGOです。**

セーブ・ザ・チルドレンは、日本を含む世界120ヶ国で子ども支援活動を行う、民間・非営利の国際組織です。子どもの権利が実現された世界を目指し、1919年から活動しています。



Save the Children

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-8-4 山田ビル4F
TEL: 03-6859-0070（平日9:30～18:00）
www.savechildren.or.jp

2020年11月発行